

AWC 首都圏方針

私たち AWC 首都圏は、安倍政権による6月15日の「共謀罪」成立強行を徹底的に弾劾します。また、今集会に参加するはずだった韓国ゲスト1名が日本政府によって不当にも入国拒否を受けました。私たちは、いかなる弾圧があろうとも、アジア人民との具体的実践的連帯を掲げた反戦闘争の前進をかちとっていく決意です。

今夏秋期、私たちは第一に米軍再編反対—日米軍事一体化と闘います。

韓国のサードミサイル配備反対の闘いに連帯し、沖縄の辺野古新基地建設阻止をはじめとした反基地闘争を闘います。地元住民の闘いに結合し、沖縄—岩国—京丹後—神奈川—横田を貫く闘いによって安倍政権を追い詰めていきます。

今秋の岩国現地集会を米軍再編反対の闘いとして決起していきます。岩国の闘いを支える活動として、「のぼり旗」カンパ運動に取り組みます。

第二に、横田基地のオスプレイ配備反対を闘います。

オスプレイの配備が延期されたからといって、横田への配備計画そのものが中止になったわけではありません。今年に入り、オスプレイが横田を経由する回数が飛躍的に増えています。パラシュート降下訓練も増えています。米軍が横田を基地再編の要として位置付けていることは明らかです。

横田基地のオスプレイ配備反対を闘う労組・市民運動とともに配備反対の行動に取り組みます。7月30日には現地フィールドワークを行います。多くの人々に横田闘争への結集を訴えます。

第三に、労働者の生活破壊と闘います。

貧困と格差拡大が無制限に拡大しています。私たちは労働者の生活破壊と闘う労働組合の闘いと結合し、貧困化と格差拡大に対して闘っていきます。

非正規労働者実態調査アンケート運動を韓日の共同した闘いとして取り組んでいきます。

第四に、反戦を闘う広範な人々と連帯した運動の一翼を担っていきます。

反戦闘争実行委や「戦争法廃止！ 安倍たおせ！ 反戦実行委員会」や「戦争・治安・改憲 NO! 総行動」の仲間とともに、改憲阻止の全人民的うねりをつくっていきます。

サミット反対闘争や共謀罪成立反対闘争で培った陣形を堅持し安倍政権と闘っていきます。7月10日の「戦争・治安・改憲 NO! 実行委員会」が提起する集会に結集し、反改憲の闘いの一翼を担っていきます。

そして最後に、今後においても「アジア人民との具体的・実践的連帯」を掲げた国際連帯運動を進めていきます。私たちは国際連帯—国際主義の中身をもって差別排外主義と対決し、反戦・反改憲運動を全力で闘っていきます。国境を越えた労働者の団結を武器に闘っていきます。

本日集られた皆さん。国際主義の立場に立った反戦—反基地運動の前進をもって、ともに安倍右翼政権を打倒していきましょう。

2017年6月24日 AWC 首都圏